

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26-10	今後もアセスメントに詳細な認知能力(できること)、ADLの能力(できそうなこと)、行動障害の原因を膨らませると共に、課題分析結果を基に解決策を深めていく。診断名も再確認し、職員が全員で介護計画を共有する。	利用者の行動障害による不安を取り除き安心した生活を送る。	アセスメントシートを活用し行動障害の原因やその背景をアセスメントとしていく。	12 ヶ月
2	35-13	海も近く台風などの自然災害の対応マニュアルも作成し、津波想定で高台に避難する訓練をしている。現在は、単独での訓練をしているので、今年度中に、みはらし荘合同で訓練を行う。	自然災害時に落ち着いて行動できるようになる。	自然災害マニュアルを職員が把握し、みはらし荘との合同訓練を行い、年2回は訓練を重ね行動変容に繋げていく。	12 ヶ月
3	36-14	入居者に対して語尾が強くなったり、冷静に対する事が難しくなる時がある。職員個々の言動を振り返り、入居者の真の思いを見つめると共に「ゆっくりに・楽しく・笑顔で」過ごせるように努める。	利用者との関係が良くなり、毎日が笑い声・話し声・歌声が絶えない日々を過ごす。	利用者に対し職員が専門職という事を、常日頃から考え利用者の気持ち思いを胸に援助していく。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月